

えがお大東っ子 第14号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧くださいませ。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyl/egaodaitoukko/>

使える英語プロジェクト事業

大阪府では、平成23年度から平成25年度までの3年間、「使える英語プロジェクト事業」を府下の50中学校区で実施しています。

大東市でも、住道中学校区の中の3校（住道中学校、住道南小学校、泉小学校）がこの事業を受け、研究実践に取り組んでいます。

この事業は、義務教育終了段階で、自分の考えや意見を英語で伝えられる生徒の育成をめざしています。

小学校では、積極的に英語を使う素地を育む授業づくりをめざし、子どもたちが英語を使って思いを伝え合う授業を行います。

中学校では「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの力をバランスよく習得すること、学んだ表現を活用する力や、自分の力で学習を進めていける力の育成をめざし、生徒が英語を使って自分の考えや意見を伝え合う授業を行います。

先日、住道南小学校の6年2組で、「使える英語プロジェクト研究実践校 公開授業」が行われました。「Can you ~?」を使って、友だちにできることをたずねながら、ビンゴゲームを楽しみました。小学校では、楽しみながら英語に慣れ親しむことで、自然に英語を身につけていく工夫がなされます。子どもたちは、それぞれ、たくさんの友だちに「Can you ~?」とたずねながら教室を動き回り、友だちの「できること」「できないこと」を楽しみながら聞き取っていました。



先生にも、積極的に英語で質問をします。

Can you play the piano?



相手の顔を見て、コミュニケーションをはかります。



AET（英語指導助手）と英語支援の先生（大東中学校）との英語のやりとりを、しっかり聞き取ります。



授業終了後、市内各校から集まった教員が、授業の良かったところや、改善した方がよい点などについて活発に話し合いました。

平成24年度

全国学力・学習状況調査の結果より

本年4月、大東市の小学校6年生と中学校3年生を対象に調査しました。

学力調査から

大阪府（公立）の平均正答率を「1」とした場合の大東市の平均正答率の割合は、小学校では国語A問題、算数B問題※中学校では国語A・B問題、数学A・B問題の平均正答率が、調査開始の平成19年度以降で最も高くなりました。特に中学校の無解答率が減少しています。

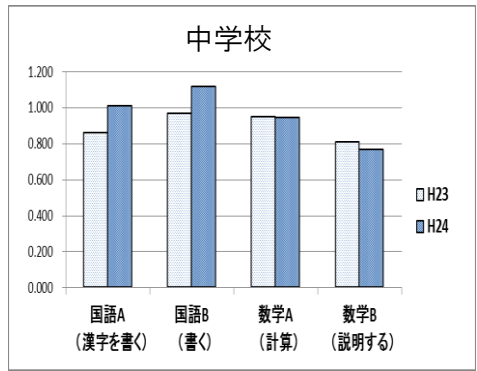
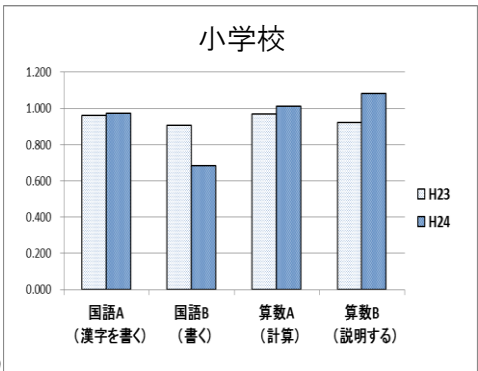


問題の領域を絞って、昨年度（大阪府学力・学習状況調査）の結果と比較すると、小学校では国語B問題の「書くこと」（例えば資料から読み取って自分の考えを書く問題）に課題があります。また、中学校では特に数学B問題の「説明すること」（筋道を立てて証明したり、数学的な表現を用いて説明する問題）に課題があります。

チャレンジ

◆新聞のコラムを書き写すのも、考えのまとめ方の学習になります。小学校高学年でもできますよ。ぜひ、ご家庭でも挑戦してみてください。

（※A問題…主に「知識」に関する問題 B問題…主に「活用」に関する問題）

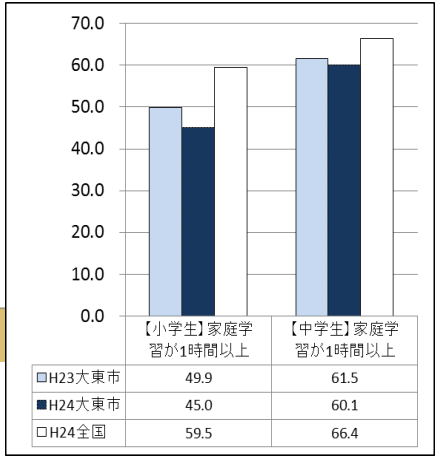


＜昨年度と同じ領域の問題の正答率を大阪府（公立）の正答率を1として比較＞

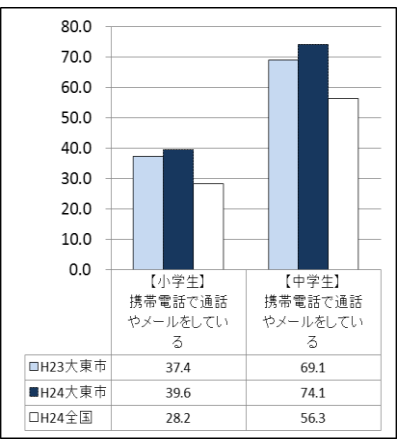
学習状況調査から

家庭学習は学力の基礎づくり

右のグラフは、平日の授業以外での「学習時間が1時間以上」と答えた児童・生徒の割合を市の今年度・昨年度と全国を比較したものです。小・中学生ともに昨年度よりも減少しています。学力向上には、予習・復習など家庭学習の習慣化が不可欠です。ご家庭でも、お子様の学習への励ましをお願いいたします。



下のグラフは「携帯電話で通話やメールをしている」と答えた児童・生徒の割合を表しています。家庭学習の時間とは反対に、小・中学生ともに昨年度よりも増加しており、全国を大きく上回っています。



家庭学習の時間とは反対に、小・中学生ともに昨年度よりも増加しており、全国を大きく上回っています。

近年、携帯電話を巡っての犯罪や人権侵害の事象も起こっており、児童・生徒が携帯電話を使用することには、十分な注意が必要です。ご家庭でも、ぜひ使い方のルールやマナーについて話し合ってください。今後、学校でも情報モラルについての教育を進めてまいります。ご協力よろしくをお願いいたします。

大東市教育研究フォーラム

大東市教育委員会主催

— 子どもたちを笑顔にするまちづくりをめざして —

これまでの教育研究の成果と課題を教職員、保護者・市民の皆様と共有し、ともに進む方向性を明らかにしていく場として、初めて開催いたします。詳しくは、後日「広報だいとう」1月号、チラシ・ポスター等でお知らせいたします。ご参加よろしくお願いたします。

- 日 時：平成25年1月19日（土） 13：45～16：30
- 会 場：大東市立総合文化センター 大ホール （*入場無料）
- 内 容：大東市の教育の取組み発表、小・中学生舞台発表
講演「子どもたちが輝くために」
～子育て体験・サッカー指導者としての経験から～
講師：宮澤 ミシェル氏（サッカー解説者 千葉県浦安市教育委員）



「放課後子ども教室」のようす

市内小学校区において、放課後子ども教室を実施しています。地域の方に指導していただき、伝承遊びや珠算教室、将棋教室や読み聞かせ、お茶教室、補充学習等を実施しています。家庭や学校だけでは出来ない体験や地域の方との貴重な交流の場となっています。



（氷野小学校：将棋教室）

希望者が多く低学年と高学年に分かれて実施しています。低学年では、はさみ将棋や山くずしなど将棋で遊ぶ子もいますが、手引き書とにらめっこの子もいます。

（四条小学校：紙ゴマづくり）

好きな色の細長い紙を選んで、棒に巻きつけてコマを作ります。根気が必要ですが、楽しみながら自由な雰囲気で作成し、仕上げの後、自作のコマで遊んでいました。



地域ファミリースポーツ四条ブロック・住道ブロック大会

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように大東市スポーツ推進委員会を中心に開催しています。

両大会ともキンボールというニュースポーツを行います。ルールは簡単!!直径 122 cm の巨大なボールを使い、4人1チームとし、ピンク・グレー・ブラックに色分けされた3チームがコートに入り、サーブやレシーブを繰り返しながら得点を競います。

ご家族、お友達と気軽に参加してみませんか。

もちろん、お一人でも参加できますよ。



四条ブロック大会

- ・日時：平成24年12月9日（日）
午前9:30から
- ・場所：来ぶりり四条・四条体育館

住道ブロック大会

- ・日時：平成25年1月20日（日）
午前9:30から
- ・場所：大東市立住道南小学校体育館

北条幼稚園 取組み紹介 「リズムとハートでルルルンパ！」

本園では、年度初めに一年間の重点目標を決め、取組みが展開しやすいようにテーマを決めています。今年のテーマを「リズムでつなごうみんなのココロ！」とし、どんな活動もリズムにのって楽しんでいます。リズムを体で感じ、友だちと一緒に好きな音楽で踊ったり体を動かしたりしている様子はとても微笑ましいです。

「体を動かすこと」は、「何でもやろうという気持ち」に関係があると言われていています。体を動かすと、体の動きを調整しようと脳が働きます。また、脳や神経系が刺激され、自然に身体機能が向上し、さらには、「表現力」「集中力」「判断力」「想像力」なども培われます。そして、脳が発達し、自分の思ったことを自由に体で表現できるようになります。

リズムにのって体を動かして、健康で活動的な子どもを育てています！



パワーがでる魔法の言葉は、
「リズムとハートでルルルンパ！」



取組み紹介 「学力向上の取組み 深野北小学校 —深北タイム—」



本校では、学力向上の取組みとして放課後算数学習教室（通称：深北タイム）を実施しています。実施日は1，4，6年生が火曜日。2，3，5年生が木曜日です。曜日と実施時間帯を変えることで管理職・学力向上支援員を含め、全先生が指導に参加できるようにしています。

毎回、子どもたちは真剣に問題に挑んでいます。

教材は現在は大東ステップアップ算数プリントを使っ

ています。問題を解いたあとすぐに近くの先生に採点してもらい、誤答については間違い直しをします。全問正解するまで頑張ります。一発合格する子あり、何回も挑戦し続ける子あり……。先生も横で個別指導を行います。

平成25年度には学校統合を控えており、深野北小として指導できるのは後わずか。「新校に確かな学力を持って行かせたい。」先生たちの赤ペンに力がこもります。



集中して問題に取り組んでいます



できました。見てください。